

# Excel 関数

# 第1節 関数とは

◇関数とは、与えられた文字や数値に対し、定められた処理を行って結果を返す命令のことです。

例えば、パンをホームベーカリーで作るには、最初に材料となる小麦粉などを入れ、次い でドライイースト、最後に水を入れるという順序があります。そして、スタートボタンを 押すとパンが完成します。ホームベーカリーは関数、材料などを投入する順序は命令、パ ンはその命令の結果に当たります。

このように、関数という箱に文字や数値などを入れて命令すると、複雑な計算や手間のか かる計算を簡単に行うことができます。

〈イメージ〉





## 請求書を作成する

<完成例>

	A	В		С	D	E	F
1	<b>御</b> 建式:	ŧ				No.1304-03	
2	神師子水青	<b></b>			発行日	aaaa年2月7日	
3							
4							
5							
6							
7	<u>NPO法人E</u>	<u> 本学び協会 御中</u>					
8						株式会社HYUGA	
9				〒561-0813	大阪府豊	中市小曽根X-Y-Z	
10					TEL	06-6AAA-BBBB	
11					代表	表者:小日向 真奈	
12							
13	以下の通り	こ請求申し上けます。					
14	4	A					
15	御請求会	金額	¥	27,105			
16							
17	請求明細						
18	No.	品名		単価	数量	金額	
19	1	高品質コビー用紙A4-1箱		2,980	1	2,980	
20	2	ecoトナーカートリッジ		4,980	2	9,960	
21	3	color-design USBメモリー		3,480	2	6,960	
22	4	Italy エスプレッソコーヒー		980	5	4,900	
23	5	ベーバーカッブ1箱		298	1	298	
24						25,098	
25				月登祝		2,007	
26				台計		27,105	
27							
28	お振り込み	は下記までお願い申し上げま	ी. जिल्ल				
29	JAPLAN銀	行豊中支店 普通 2013331	名義	:株式会社日	YUGA		
30							

関数を使用する前に請求書に関する データを入力しましょう。



(1) データの入力

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι
1	御請求書			1	Vo.1304-03		₽・左揃⇒		
2	1, 10 Am	<u></u>				HUE	1.11111		
3		14pt、7	太字						
5		セル[A1	]~[B2]&	結合					
6									
7	<u>NPO法人日本</u>	≿学び協会	会 御中						
8				株式:	会社HYUGA	ヤル	[F8]~[F1	11を範囲資	訳
9		〒561-	0813 大阪)	存豊中市小	曽根X-Y-Z		·	-]0+0	
10	〒2月 11		Т	EL 06-6A	AAA-BBBB	凹口道	[: 石捌ス		
11	гияк <u>о</u>			代表者:小	日向 真奈				
12									
13	以下の通りご	請求申し	上げます。						
14									
15	御請求金	額							
16		*******	14nt. ★3	⋧					
17	請求詳細		- ipu .M.	<u> </u>					
18									

① 下図のようにデータを入力し、各種設定を行います。

# \* Point

Excel では複数のセルを結合することができます。結合したいセルを範囲選択して、 「ホーム」タブ→「配置」グループ→「セルを結合して中央揃え▼」をクリックします。

木-	-4	挿	込	ページレ	ィアウト	. **	效式	データ	,	校閲	Ħ	長示	Ţ	ッドイン		
6	MS	P	ゴシック		- 11	-	A A	=	=	=	≫⁄		∎ ł	行り返して全	全体を表示する	3 標準
i⊒ - 3∕	в	I	<u>u</u> .	⊞ -	<u></u>	A -	⊈ -	Ē	≣	∃	< >	F	∎t	zルを結合し	/て中央揃え	- 9
- G				フォント			E.					配	+ <b>a</b> +	セルを結合	合して中央揃	त् <u>रे(C</u> )
E31			-	6	$f_{x}$								=	横方向に	結合( <u>A</u> )	
A					В				0	)		D		セルの結合	<u> 合(M)</u>	
清寸	いました。							_						セル結合	の解除( <u>U</u> )	



◇ここでは、項目ごと(「No.」、「品名」など)にその詳細を入力します。 ※罫線の設定は「格子」に設定します。

 ② セル[A18]に「No.」と入力→セル[A19]とセル[A20]に「1、2」まで入力→残り セル[A21]~[A23]はオートフィル機能を使用します。



③ セル[B18]~[D23]まで以下のようにデータを入力し、各種設定を行います。

セ 太	ル[A18]~ 、字、中央摘	r[E18]まで範囲選択 前え 列	の幅を変更	でする 「木	セル[C19]~[C23]まで範囲選択 「桁区切りスタイル」 ・			
	A	В	С	D,	E	F		
16				1				
17	請求詳細			1				
18	No	品名	単価 .	教量	金額			
19	1	高品質コビー用紙A4-1 箱	2,980	1				
20	2	ecoトナーカートリッジ	4,980	2				
21	3	color-design USBメモリー	3,480	2				
22	4	Italy エスプレッソコーヒー	980	5				
23	5	ベーバーカップ1 箱	298	1				
24								

◇単価と数量を掛ける数式で金額を求める

 セル[E19]に単価のセル[C19]と数量のセル[D19]を掛ける数式を入力し、オート フィル機能を使用して数式を表の下までコピーします。



- ◇「単価」と「金額」の列の幅を「14」に変更
  - ② 「単価」の C の列と「金額」 E の列を「Ctrl」 キーを押しながら範囲選択し、 右クリック→「列の幅(C)」を選択します。

	A	В	С	D	E.		F G H
1	加速式量	Þ		N	o.1304	*	切り取り(工)
2	神晶水青	5	発行	78000C	)年2月	Ð	⊐ピ–( <u>C</u> )
3							貼り付けのオプション:
4							Δ
5							
6							形式を選択して貼り付け(5)
/	<u>NPO/ZAE</u>	本字ひ協会 御中		++ -+ ~	səti na		挿入( <u>I</u> )
8		= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		「休式え 左典由士式」	₹↑IHYU ₩ #BV/ \		削除(D)
9		T 501-U	1813 / HX)	付豆中巾小	首12X-		
10				1 EL 06-64			数本にと1世のクリア(11)
11				1、衣者:小	티미 후	<b>P</b>	セルの書式設定(E)
12	国际の通り	ご請求申したます					列の幅(⊆)⊾
14	M 1 07 100 7					•	非表示(日)
15	御詰載台	2 貊					西圭一(II)
16	PF013-71-2					_	194X/J/(U)

- ◇「列の幅」ダイアログボックス
  - ③ 「列幅(C)」ボックスに「14」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。





合計を求める・SUM 関数

請求書の小計のように、指定した範囲の値の合計を求める場合に使用する関数です。

## =SUM(範囲)

① セル[C24]に小計と入力します。下の図のように設定します。

	A	В	С		D	E	F
16							
17	請求詳細						
18	No.	品名	単価	5	数量	金額	
19	1	高品質コピーA4-1 箱		2,980	1	2,980	
20	2	ecoトナーカートリッジ		4,980	2	9,960	
21	3	color-design USBメモリー		3,480	2	6,960	
22	4	Italy エスプレッソコーヒー		980	5	4,900	
23	5	ベーバーカップ1 箱		298	1	298	
24				小計			
25							
26	太子	字、セル[C24]~[D24]まで創	範囲選択				
27	[+7]	↓を結合して由血揃う↓					
28	10						
29							

◇ここでは SUM 関数を使用して、セル[E24]に金額の小計の値を求めます。

 ② セル[E24]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の 挿入」をクリックします。



◇「関数の挿入」のダイアログボックス



- ◇「SUM」関数のダイアログボックス
  - ⑦ 数値 1」のボックスにセル[E19]~[E23]まで範囲選択→「OK」ボタンをクリッ クします。

関数の引数 ? ×
SUM 数値1 E19E23 mm = {2980;9960;6960;4900;298} 数値2 mm = 数値 ⑦セル[E19]~[E23]まで範囲選択
= 25098 セル範囲に含まれる数値をすべて合計します。 数値1:数値2には合計を求めたい数値を 1 ~ 255 個まで指定 できます。論理値および文字列は無視されますが、引数として入力 されていれば計算の対象となります。
数式の結果 = 25,098 この関数のヘルブ(H) OK キャンセル

#### ◇セル[E24]に金額の小計の値が表示されます。

	E24	<b>-</b> (*	<i>f</i> <sub>∗</sub> =SUM(E19:E2	23)		
	С	D	E	F	G	Н
17						
18	単価	数量	金額			
19	2,980	1	2,980			
20	4,980	2	9,960			
21	3,480	2	6,960			
22	980	5	4,900		(t))カスタイル	L L
23	298	1	298		-932/7/7/17	
24	小計		25,098			
25						

(3) 小数点以下を切り捨てる・ROUNDDOWN 関数
 ◇請求書の消費税のように、小数点以下の値を切り捨てて表示する場合に使用する
 関数です。

=ROUNDDOWN(数値や数式、切り捨て後の小数点以下の桁数)

① セル[C25]に「消費税」と入力し、下の図のように設定します。

	A	В	С	D	E	F
22	4	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900	
23	5	ペーパーカップ1 箱	298	1	298	
24			小計		25,098	
25			消費税	•		
26						
27		大字 セル[C25]~[D2	251まで範囲選択	e		
28			2019 C#0547551/			
29		セルを結合して中央揃	え」			
30						

- ◇ここではセル[E25]に ROUNDDOWN 関数を使用して小数点以下を切り捨てた状態での消費税の値を求めていきます。
  - ② セル[E25]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の 挿入」を選択します。
- ◇「関数の挿入」のダイアログボックスが表示されます。

関数の挿入 ? ×	③「関数の分類 (C)」 🔽 をクリッ
関数の検索(S): 何がしたいかを簡単に てください。 関数の分類(C): すべて表示 関数名(N): REPT RIGHT RIGHT RIGHTB RIGHTB 0 「 F D OL W D D OL W U + 1974日	<ul> <li>クし、「すべて表示」を選択します。</li> <li>④「関数名(N)」内をクリックし、</li> <li>半角英数字の「R」 キーを押します。</li> <li>         ・</li> <li>         ・<!--</th--></li></ul>
ROMAN ROUND ROUNDDOWN ROUNDDOWN ROUNDDOWN(数値桁数) 数値を切り捨てます。	頭文子がR の演数に移動します。 ⑤「ROUNDDOWN」を選択しま す。
⑥「OK」ボタンをクリック この関数のヘルプ OK キャンセル	⑥「OK」 ボタンをクリックします。

#### ◇「ROUNDDOWN」関数のダイアログボックス

⑦ 数値ボックスに対象値であるセル[E24]に消費税 8%を掛ける数式を入力し、
 「OK」ボタンをクリックします。

	関数の引数	? 🗙
ROUNDDOWN 数値 桁数	E24*8% = 2007.84	
数値を切り捨てます。	= 2007 「O」と入力 = 2007 桁数 (こは数値を切り捨てた結果の桁数を指定 指定すると、数値は小数点の左(整数部 位を 0 とする)に切り捨てられ、0 を指定	します。桁数に負の数を 3分)の指定した桁(1 の さするかまたは省略される
数式の結果 = 2007 この関数のヘルプ(H)		OK N キャンセル

※桁数は表示する小数点以下の数を示します。

桁数が「1」ならば小数点以下が 1 桁表示され、桁数が「0」ならば小数点以 下は表示されません。

逆に、桁数が「-1」と負数になれば一の位の四捨五入などをして 10 単位にします。 桁数が「-2」となれば十の位を四捨五入して 100 単位にします。

◇セル[E25]に小計の消費税が切り捨てられた形式で表示されます。

	E25	<b>▼</b> (= <b>f</b> x =RO	UNDDOWN(E24*8;	6,0)				
	A	В	С	D	E	F		
22	4	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900			
23	5	ベーバーカップ1 箱	298	1	298			
24			小計		25,098	ļ		
25			消費税		2007	Į		
26					/			
27		「セル「	F251*8%1の計	算結果であ	3			
28		[D00]						
29		1200	12007.8」の小数点以下か切り捨てられる					
30								

# \* Point

## ➢ ROUND 関数

設定した桁数で値を四捨五入して表示する場合に使用する関数です。

=ROUND(数値や数式、<u>四捨五入する</u>小数点以下の桁数)

## ➢ ROUNDUP 関数

小数点以下の値を切り上げて表示する場合に使用する関数です。

=ROUNDUP(数値や数式、切り上げ後の小数点以下の桁数)

	A	В	С	D
1	値			
2	4321.567			
3		四捨五入	切り上げ	切り捨て
4	桁数	ROUND	ROUNDUP	ROUNDDOWN
5	1	4321.6	4321.6	4321.5
6	0	4322	4322	4321
7	-1	4320	4330	4320
8	-2	4300	4400	4300



(4) 今日の日付を入力する・TODAY 関数

◇請求書の発行年月日のように、今日の日付を自動的に入力する場合に使う関数です。 =TODAY()

◇ここではセル[E2]に TODAY 関数を使用します。

セル[E2]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」を選択します。

◇「関数の挿入」のダイアログボックス

関数の挿入 ? ×	② 「関数の分類 (C)」 <b>≥</b> を
関数の検索(S): 何がしたいかを簡単に てください。	クリックし、「すべて表示」を選択 します。
関数の分類(C): すべて表示 関数名(N): TIME TI	③ 「関数名 (N)」内をクリックし、 半角英数字の「T」キーを押します。
TRANSPOSE TREND TRIM TRIM	◇頭文字がTの関数に移動します。
TODAY() 現在の日付を表すシリアル値(Excel で日付や時刻の計算で使用される コード)を返します。 ⑤「OK」ボタンをクリック	④ 「TODAY」を選択します。
この関数のヘルプ OK ト キャンセル	⑤ 「OK」ボタンをクリックします。

◇「TODAY」関数のダイアログボックス



	D	E	F	G
1		No.1304-03		
2	発行日	aaaa年2月7日		
3		1		
4		自動的に今日のF	付が表示さ	tha
5	L		113/2 203/0	100
6				

⑥ 「OK」ボタンをクリックします。

◇今日の日付が表示されます。
 ※テキストでは、「aaaa年2月7日」
 と表記しています。

# \* Point

TODAY 関数で表示する値は、ブックを開くたびに現在の日付に更新されます。 例えば、「○○○○年2月7日」に作成したブックを○○○○年2月14日に開くと、 日付は「○○○○年2月14日」に更新されます。 日付を更新されないようにするには、TODAY 関数が入力されているセルを ダブルクリックし、「F9」キーを押して日付を数値に変更します。

	D	E	F	G	Н	Ι
1		No.1304-03				
2	発行日	aaaa年2月7日				
3		1999 - Carlos Carlos - Carlos		and the second	1	
4		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	. 1TODA	Y関数が人	力されている	3
5			ヤルをダブ	「ルクリック		
6			0.550.11			
7			(2)1F9]7	-ーを押す		
8		株式会社HYUGA				



	D	Е	F	G	Н
1		No.1304-03			
2	発行日	41677			
3					
4		•	日付が値	で表示され、	1
5					·
6			史新されな	よくなる	
7					



	D	E	F	G	Н	Ι
1		No.1304-03				
2	発行日	aaaa年2月7日				
3		14. 14.	日付け	重新されず(	-	
4			- Ц13163			
5			l aaaa4	₹2月7日」	で固定される	5
6						



#### (5) 請求書の完成

	В	С	D	E	F	G	Н
21	color-design USBメモリー	3,480	2	6,960			
22	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900			
23	ペーパーカップ1 箱	298	1	298			
24		小計		25,098			
25		<b>消費税</b>		2,007			
26		合計	•				
27							
28	は下記までお願い申し上げま	す。		大字 セル[C26]	l~[D26]≴	新田選択	
29	行豊中支店 普通 2013331	名義:株式会社H	YUGA			2#664,823/7	
30				1 セルを結合して	P央揃え」		
31							

① セル[C26]に「合計」と入力します。

 ② セル[E26]に小計の金額セル[E24]と消費税の金額セル[E25]を足す数式 「=セル[E24]+[E25]」の数式を求めます。

	В	С	D	E	F
21	color-design USBメモリー	3,480	2	6,960	
22	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900	
23	ベーバーカップ1 箱	298	1	298	
24		小計		25,098	
25		消費税		2,007	
26		合計		=E24+E25	
27					
28	は下記までお願い申し上げま	ंगे.			
29	行豊中支店 普通 2013331	名義:株式会社H	YUGA		
30					

## ◇セル[E25]に合計金額が表示されます。

	В	С	D	E	F
21	color-design USBメモリー	3,480	2	6,960	
22	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900	
23	ベーバーカップ1箱	298	1	298	
24		小計		25,098	
25		消費税		2,007	l
26		合計		.27,105	Į
27					
28	は下記までお願い申し上げま	す。		***	10.7
29	行豊中支店 普通 2013331	名義:株式会社H	YUGA	致式結果の衣示されていた。	สเธ
30					

◇御請求金額を求めます。

③ セル[C15]に「=」を入力し、合計金額が表示されているセル[E26]をクリック します。

	A	В	С	D	E	F
13	以下の通り	ご請求申し上げます。				
14				<b>.</b>		
15	御請求会	金額	=E26			
16			•••••••	· ·		
17	請求明細					
18	No.	品名	単価	数量	金額	
19	1	高品質コビー用紙A4-1 箱	2,980	1	2,980	
20	2	ecoトナーカートリッジ	4,980	2	9,960	
21	3	color-design USBメモリー	3,480	2	6,960	
22	4	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900	
23	5	ベーバーカップ1箱	298	1	298	
24			小計		25,098	
25			消費税			
26			合計		27,105	
27						•

④ セル[C15]に合計金額が表示されますので、表示形式を「会計」に設定します。

	A	В		С	D	E	F	G
13	以下の通り	ご請求申し上げます。						-
14					4	)表示形式を「会計	」に変更する	
15	御請求会	金額	¥	27,105	14pt、太字			
16						-		-
17	請求明細							
18	No.	品名		単価	数量	金額		
19	1	高品質コビー用紙A4-1 箱		2,980	1	2,980		

## ⑤ 下図のように、データを追加します。

	A	В	С	D	E	F
22	4	Italy エスプレッソコーヒー	980	5	4,900	
23	5	ペーパーカップ1 箱	298	1	298	
24			小計		25,098	
25			消費税	1	2,007	
26			合計		27,105	
27						
28	お振り込み	は下記までお願い申し上げま	す。			
29	JAPLAN銀	行豊中支店 普通 2013331	名義:株式会社H	YUGA 🚦		
30	• • • • • • • • • • • • • • •		••••••	•••••		

## 2. 資料を作成する

ここでは関数を使用して成績表を作成していきます。

<完成例>

	A	В	С	D	E	F	G	Н	I	J
1	第1回学力テン	スト・試験結	果							
2										
3										
4	氏名	国語	社会	数学	理科	英語	合計得点	平均点	評価	順位
5	井上恭子	77	80	70	75	88	390	78.0	不合格	6
6	古賀鉄平	65	59	49	55	66	294	58.8	不合格	8
7	坂本淳二	53	67	45	60	55	280	56.0	不合格	10
8	佐久間玲子	81	85	75	80	92	413	82.6	合格	3
9	柴田美奈子	94	90	85	92	96	457	91.4	合格	1
10	鈴木清治	86	88	77	75	90	416	83.2	合格	2
11	西山雅夫	75	60	56	62	86	339	67.8	不合格	7
12	服部明美	65	54	50	55	70	294	58.8	不合格	8
13	山川朝子	80	78	78	85	84	405	81.0	合格	4
14	吉本健	79	80	77	85	82	403	80.6	合格	5





(1) データの入力

セル[A1]にタイトルを入力し、以下のようにデータを入力します。
 ※罫線は「格子」を使用します。

	A	В	С	D	Е	F	G
1	第1回学力テン	スト・試験結	果				
2							
3	氏名	国語	社会	数学	理科	英語	
4	井上恭子	77	80	70	75	88	
5	古賀鉄平	65	59	49	55	66	
6	坂本淳二	53	67	45	60	55	
- 7 -	佐久間玲子	81	85	75	80	92	
8	柴田美奈子	94	90	85	92	96	
9	鈴木清治	86	88	77	75	90	
10	西山雅夫	75	60	56	62	86	
11	服部明美	65	54	50	55	70	
12	山川朝子	80	78	78	85	84	
13	吉本健	79	80	77	85	82	
14							

◇各教科の合計点を G の列に求めます。

② セル[G3]に「合計得点」と入力し、セル[G4]をクリックし SUM 関数を使用して各 教科の合計得点を求め、オートフィル機能を使用してセル[G13]までコピーします。

	F	G	Н
1			
2			
3	英語	合計得点	
- 4	88	390	
5	66		
6	55		
7	92		
8	96		
9	90		
10	86		
11	70		
12	84		
13	82		
14			

関数の挿入

何がしたいかを簡単に入力して、「検索開始」をクリックし 検索開始(G) てください。

関数の検索(<u>S</u>):

関数名(<u>N</u>):

SUM ROUNDDOWN TODAY SUMIF RANK.EQ IF AVERAGE

この関数のヘルプ

関数の分類(C): 最近使用した関数

SUM(数値1,数値2,...) セル範囲に含まれる数値をすべて合計します。 ?

~

OK キャンセル





「関数の分類(C)」には「最近使用した関数」 があります。これは今まで過去に使用した関 数が表示されます。



(2) 平均を求める・AVERAGE 関数

◇試験結果の平均点のように、指定した範囲の値の平均を求める場合に使用する関数です。

## =AVERAGE(範囲)

◇ここでは H の列に各教科の平均点を求めていきます。

① セル[H3]に「平均点」と入力します。

	G	Н	Ι
1			
2			
3	合計得点	平均点	Į
4	390		[
5	294		
6	280		
7	413		
8	457		
9	416		
10	339		
11	294		
12	405		
13	403		
14			

② セル[H4]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」を選択します。

◇「関数の挿入」のダイアログボックス

関数の挿入	? ×
関数の検索(S): 何がしたいかを簡単( てください。 関数の分類(C): すべて表示	検索開始( <u>G</u> )
関数名(N): ASINH ATAN ATAN2 ATANH AVERAGE」を選択	^
AVERAGE AVERAGEA AVERAGE(数值1数值2_)	<b></b>
引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む。 参照を指定できます。	名前、配列、セル
310KJ/(92&0090	
この関数のヘルプ OK	キャンセル

- ③ 「関数の分類(C)」 を
   クリックし、「すべて表示」を選
   択します。
- ④ 「関数名」(N)で「AVERAGE」を選択します。
- ⑤ 「OK」ボタンをクリックします。

- ◇「AVERAGE」関数のダイアログボックス
  - ⑥ 「数値 1」ボックスに井上さんの国語~英語の点数までを範囲選択し、「OK」ボタンをクリックします。

	関数の引数 ? ×				
AVERAGE 数値1 数値2	B4:F4 B4:F4 EW = 数値 ⑥セル[B4]~[F4]まで範囲選択				
引数の平均値を返	= 78 引数の平均値を返します。引数には、数値、数値を含む名前、配列、セル参照を指定できます。 数値1:数値1数値2 には平均を求めたい数値を、1 から 255 個まで指 定します。				
数式の結果 = 78 この関数のヘルプ(P	1) OK k キャンセル				

◇セル[H4]に各教科の平均点が表示されます。

⑦ セル[H4]の数式をオートフィル機能を使用してセル[H13]までコピーします。

	G	Н	Ι			G	Н	Ι
1					1	1	数占筆14	7.4.7.表示
2					2		ען דרא איז אפי	10 (12/)
3	合計得点	平均点			3	合計得点	<u>平均点</u>	
4	390	7 <del>8</del> ,	Ö		- 4	390	78.0	•**
5	294		-		5	294	58.8	
6	280				6	280	56.0	
7	413			$\sim$	7	413	82.6	
8	457				8	457	91.4	
9	416				9	416	83.2	
10	339				10	339	67.8	
11	294		V		11	294	58.8	
12	405		•		12	405	81.0	
13	403				13	403	80.6	
14					14			<b></b> +



- (3) 条件による結果を表示する・IF 関数
  - ◇試験結果の評価のように、条件を設定して、その結果を2つに分けて表示する場合に使用される関数です。
  - ◇ここでは、Iの列に合計点が「400点以上」を満たした場合に評価を「合格」と表示し、 満たさない場合には「不合格」と表示します。

=IF(条件、条件を<u>満たす</u>結果、条件を<u>満たさない</u>結果)

	G	Н	Ι	J
1				
2				
3	合計得点	平均点	評価	
-4	390	78.0		
5	294	58.8		
6	280	56.0		
- 7	413	82.6		
8	457	91.4		
9	416	83.2		
10	339	67.8		
11	294	58.8		
12	405	81.0		
13	403	80.6		
14				

① セル[I3]に「評価」と入力します。

- ② セル[I4]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」 を選択します。
- ◇「関数の挿入」のダイアログボックス

関数の挿入 ? ×	(
関数の検索(S): 何がしたいかを簡単に てください。 関数の分類(C): すべて表示	(4
関数名(N): HEX20CT HLOOKUP HOUR HYPERLINK HYPEGEOM DIST	
HYPGEOMDIST	<
IF(論理式,真の場合,偽の場合) 論理式の結果 (TRUE か FALSE) に応じて、指定された値を返します。 ⑥「OK」ボタンをクリック	(
この関数のヘルプ OK に キャンセル	(

- 「関数の分類(C)」 をクリ ックし、「すべて表示」を選択し ます。
- 「関数名 (N)」内をクリックし、
   半角英数字の「I」キーを押します。

◇頭文字がⅠの関数に移動します。

- ⑤ 「IF」を選択します。
- ⑥ 「OK」ボタンをクリックします。

◇IF 関数のダイアログボックス



 ⑦ 「論理式」のボックスに、合計得点 のセル[G4]が 400 点以上である条 件を入力します。

「セル[G4]>=400」

※〇〇以上を表す場合は、「>=」と入力します。 〇〇以下を表す場合は、「<=」に順番に入力します。

⑧「合格」と入力 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	别数
IF	
論理式、G4>=400	🎫 = FALSE
真の場合 合格	=
偽の場合	🎫 = ಕನ್ನ
論理式の結果 (TRUE か FALSE) に応じて、指定され	= FALSE にた値を返します。

	⑨「不合格」と入力	関数の引数	
IF			
	論理式 G4>=	400 📧 =	FALSE
	真の場合 『合格	3″ 💽 =	"合格"
	偽の場合 不合	格 📧 =	
		=	
論理詞	式の結果 (TRUE か FALS	E) に応じて、指定された値を返し	ます。

IF		
11	論理式 G4>=400	📷 = FALSE
	真の場合 100	<b>E</b> = 100
	偽の場合 200	<b>ESE</b> = 200

- ⑧ 「真の場合」のボックスに、<u>条件を</u> 満たす場合に表示する文字列「合格」 を入力します。
- ⑨ 「偽の場合」のボックスに、<u>条件を</u> <u>満たさない</u>場合に表示する文字列 「不合格」を入力します。

# **₩**Point

関数のダイアログボックスに文字を入力すると前後に「""(ダブルクォーテーション)マーク」が<u>自動的に</u>表示されます。 その理由はこれが文字であることを示しています。従って文字ではない数式や数字を 入力した場合、「""マーク」は表示されないようになっています。  ① すべてのボックスに数値や数式が入力されていることを確認し、「OK」ボタンを クリックします。

	関数の引数									
IF 論理式 真の場合 偽の場合 論理式の結果 (TRUE か	G4>=400 「合格" 「不合格" 「不合格" FALSE) に応じて、指定された値を返 論理式 (こは結果が TRUE または ます。	= FALSE = "合格" = "不合格" = "不合格" 記よす。 FALSE になる値、もしくは数式を指定し								
数式の結果 = 不合格 <u>この関数のヘルプ(H)</u>		OK キャンセル								

G Н J 4 T 1 2 合計得点 平均点 3 評価 390 <u>78.0 不合格</u> 4 5 294 58.8 7 6 280 56.0 7 413 条件を満たさない結果が 8 457 416 表示される 9 10 339 07.U 11 294 58.8 12 405 81.0 80.6 403 13 14

◇入力した IF 関数の結果として、セル[I4]に 「不合格」と表示されます。



⑪ セル[I4]の数式をオートフィル機能を使用して、セル[I13]までコピーします。

	G	Н	Ι	J
1				
2				
3	合計得点	平均点	評価	ļ
-4	390	78.0	不合格 🥊	•••
5	294	58.8		
6	280	56.0		$\bigcirc$
- 7	413	82.6		
8	457	91.4		
9	416	83.2		
10	339	67.8		
11	294	58.8		
12	405	81.0		
13	403	80.6		
14				

		G	Н	I	J
	1				
	2				
	3	合計得点	平均点	評価	
	- 4	390	78.0	不合格	
	5	<u>294</u>	<mark>58.8</mark>	不合格	
	6	<u>ш</u> 4	1揃え 56.0	不合格	
	- 7	L'é	82.6	合格	
	8	457	91.4	合格	
	9	416	83.2	合格	
	10	339	67.8	不合格	
	11	294	58.8	不合格	
	12	405	81.0	合格	
	13	403	80.6	合格	Į
	14				



(4) 順位をつける・RANK.EQ 関数

◇試験結果の順位のように、指定した範囲のなかで、値が何番目にあるかを表示する場合 に使用する関数です。

# =RANK.EQ(数值、範囲、順序)

◇ここではJの列に合計得点から順位を求めていきます。

	G	Н	Ι	J	K
1					
2					
3	合計得点	平均点	評価	順位	Į
4	390	78.0	不合格		ľ
5	294	58.8	不合格		
6	280	56.0	不合格		
- 7	413	82.6	合格		
8	457	91.4	合格		
9	416	83.2	合格		
10	339	67.8	不合格		
11	294	58.8	不合格		
12	405	81.0	合格		
13	403	80.6	合格		
14					

① セル[J3]に「順位」と入力します。

② セル[J4]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」
 を選択します。

	関数の挿入	?	x	3	「関数の分類(C)」 🔽 をクリッ
関数の検索(S): 何がしたいかを簡単に入 てください。	③「すべて表示」を選択	検索開始	4G)	0	クし、「すべて表示」を選択します。
関数の分類(): 9へ(ま)	रेतर <u> </u>			4	「関数名(N)」内をクリックし、
RADIANS RAND RANDBETWEEN	4)関数内の一覧で R]=	キーを押す			半角英数字の「R」キーを押します。
RANK RANKAVG RANKEQ	⑤「RANK.EQ」を選択				7 0
RATE RANK.EQ(数値,参照,順)				◇頭	〔文字が R の関数に移動します。
加引したって範囲内の数 を返します。複数の数値が 返します。	他を並べ替えたとき、数他が向う が同じ順位にある場合は、その他		9つか 1位を	5	「RANK.EQ」を選択します。
	0KJ/kg/20090				
<u>この実験(のヘルフ</u>	OK	++>	セル	6	「OK」ボタンをクリックします。

◇RANK.EQ 関数のダイアログボックス

⑦ 「数値」ボックスに、順位の対象数値である合計得点のセル[G4]を選択します。

		関数の引数
RANK.EQ	数値 参照 順序	<ul> <li>三、 = 390</li> <li>三、 = 参照</li> <li>三、 = 論理</li> </ul>

⑧ 「参照」ボックスに、順位の対象範囲であるセル[\$G\$4]~[\$G\$13]を範囲選択します。

8セル 「F4」キ	[G4]~[G13] を1回押す	関数の引数			
	RANK.EQ	数値 G4 参照 \$G\$4:\$G\$13 順序	500000 51000 E66 E66	= = =	390 {390;; 論理

※対象範囲を絶対参照にしない場合は、適切に順位が表示されません。

数式はオートフィル機能を使用して、下へコピーすると、対象範囲がずれてしまうためです。

	関数	の引数	? ×
RANK.EQ			
数値	G4	<b>I I I</b> I I I I I I I I I I I I I I I I	
参照	\$G\$4:\$G\$13	<b>= {390;294;</b>	280;413;457;416;339;294;
順序		💽 = 論理	
順序に従って範囲内の数1 同じ順位にある場合は、そ	直を並べ替えたとき、数値 の値の中の最上位を返 順序 には範囲内(	= 6 直が何番目に位置するかを します。 D数値を並ぶ替える方法を	返します。複数の数値が 表す数値を指定します。順
	序に U を指定 数値を指定	モリるが省略すると、降順) すると、昇順で並べ替えられ	C亚へ替えられ、0 以外の はす。
数式の結果 = 6			
<u>この関数のヘルプ(H)</u>		6	OK キャンセル



◇入力した RANK.EQ 関数の結果として、範囲内の順位が表示されます。

# **₩**Point

RANK.EQ 関数の「順序」のボックスは昇順か降順かの順番を並べ替える方法を指定できます。

昇順:数の少ない順番から並べ替える方法です。 降順:数の多い順番から並べ替える方法です。

「順序」のボックスが空白か「0」を入力すると、昇順になります。

「0」以外の数字を入力すると、降順になります。



⑩ セル[J4]の数式を、オートフィル機能を使用してセル[J13]までコピーします。

	G	Н	I	J	К			I	J	K
1			-				1			
2							2			
3	合計得点	平均点	評価	順位			3	評価	<u>順位</u>	
4	390	78.0	不合格	6			- 4	<u>不合格</u>	6	
5	294	58.8	不合格				5	<u>不合格</u>	8	
6	280	56.0	不合格			<b>N</b>	6	<u>不合格</u>	10	
7	413	82.6	合格				7	合格	3	
8	457	91.4	合格				8	合格	1	
9	416	83.2	合格			$\neg$	9	合格	2	
10	339	67.8	不合格			· ·	10	不合格	7	
11	294	58.8	不合格				11	不合格	8	
12	405	81.0	合格				12	合格	4	
13	403	80.6	合格				13	合格	5	
14							14			-

◇成績表の見出しの変更。

① セル[A3]~[J3]まで範囲選択し、フォントを「太字」、配置を「中央揃え」にします。

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	К
1	第1回学力テス	スト・試験結	果								
2											
3	氏名	国語	社会	数学	理科	英語	合計得点	平均点	評価	順位	
4	井上恭子	77	80	70	75	88	390	78.0	不合格	6	
5	古賀鉄平	65	59	49	55	66	294	58.8	不合格	8	



# チャレンジ問題1

◇以下の手順に沿って、売上一覧を作成してみましょう。

<完成例>

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J	К	L
1	JAPLANオ	ンラインスト	ア・曜日別引	も上数一覧								
2												
3		二米酒			売上数(個) 。				△満回□△≕(/面)	公満町亚均(価)		
4		刀栗	月	火	水	木	金	±	8	刀突动音音(個)	ガス見が下すみて回り	
5		食料品	578	677	780	674	663	896	989	5257	751.0	
6		書籍	38	41	42	38	34	52	56	301	43.0	
7		衣料品	53	52	59	58	65	69	78	434	62.0	
8		日用品	243	254	358	238	240	459	496	2288	326.9	
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66	220	31.4	
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685	8500		
11		順位	7	4	3	6	5	2	1			
12		評価	X	×	0	×	×	0	0			
13												

1. ブック「Excel チャレンジ問題」を開き、新しいシート「売上一覧」を作成します。

2. データ入力

① 下図のように、データを入力します。

※罫線は「格子」を使用します。

	Å M	S Pゴシック	•	11 · A /	× ==	= 🗞	青 折り返し	て全体を表示す	「る標準				
」 貼り付け セル[B3]~[B4]を範囲選択				▲ ▲ ▲ ▲ セル[C3]~[I3]を範囲選択 <sub>込て中央揃え</sub> 、				t - 🥶 - 9	∕₀ , <u>*.</u> 0				
、 クリップボ 「セルを結合して中央揃え」						結合して中	「央揃え」		5	数値			
	P24 👻 🧑 🎜												
	A	ė,	С	D	E	F	G	Н	Ι	J			
1	1 JAPLANオンラインストア・曜日別売上数一覧												
2													
3		分類				売上数(個)							
4		<u>)) xx</u>	月	火	水	木	金	<u>±</u>	Β				
5		食料品	578	677	780	674	663	896	989				
6		書籍	38	41	42	38	34	52	56				
- 7		衣料品	53	52	59	58	65	69	78				
8		日用品	243	254	358	238	240	459	496				
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66				
10													



「ホーム」タブ→「配置」グループ →「セルを結合して中央揃え」

木-	-4	損	杁	ページレイ	アウト	数	试	データ	校園	問 表示	マドイン
×	MS	P	ゴシック		11		A A	=	= =	≫,	■ 折り返して全体を表示する
i⊒ ▼ ∛	в	I	<u>U</u> -	⊞ -   ≦	<u>-</u>	<b>\</b> -	₫ ·	≣	≣≣		■ セルを結合して中央揃え マ
s 15				フォント			- Fa			ā	

#### 3. 個数の合計

 セル[B10]に「合計(個)」と入力→セル[C10]に SUM 関数を使用して個数の合計を 計算→オートフィル機能を使用して数式をセル I[10]までコピーします。

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J
1	JAPLAN7	ンラインスト	ア・曜日別ラ	も上数一覧						
2										
3		公米面				売上数(個)				
4		<u>, 17, ×</u> ₽	月	火	水	木	金	+		
5		食料品	578	677	780	674	663	896	989	
6		書籍	38	41	42	38	34	52	56	
- 7		衣料品	53	52	59	58	65	69	78	
8		日用品	243	254	358	238	240	459	496	
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66	
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685	
11										<b>-</b>
12		ヤル[C10]	[c[=SUM	(C5:C9)]						
13		+ 17/1	+##4K	(/J	<u>ا</u> ا					
14		オートノイル	機能でセル	[110]# (, _	C-					
15										

- 4. 合計(個)の順位
- ◇ここでは合計(個) セル[C11]~[I11]を対象範囲として RANK.EQ 関数を使用して順位を 求めます。
  - ① セル[B11]に「順位」と入力します。

	A	В	С	D	E	F	G	Н	Ι	J
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66	
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685	
11		順位								
12										

- ② セル[C11]をクリックし、「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」 から「RANK.EQ」をクリックします。
- ③ RANK.EQ 関数のダイアログボックスの「数値」にセル[C10]をクリックします。

		関数の引数
RANKEQ	数値 参照 順序	<b>55</b> <b>55</b>

④ 「参照」に順位の対象範囲であるセル[C10]~[I10]を範囲選択し、「F4」キーを押して絶対参照にします。

		関数の引数
RANK.EQ	数値 C10	<b>1</b>
「F」キーを押して、 絶対参照にする	参照 \$C\$10:\$I\$ 順序	

⑤ ボックスの内容に間違いがないかを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

関数の引数 ? ×
RANK.EQ 数値 C10 mm = 932 参照 \$C\$10:\$B10 mm = {932,1047,1258,1023,1028,1527,16 順序 mm = 論理
= 7 順序に従って範囲内の数値を並べ替えたとき、数値が何番目に位置するかを返します。複数の数値が 同じ順位にある場合は、その値の中の最上位を返します。 参照(には数値を含むセル範囲の参照、または配列を指定します。数値 以外の値は無視されます。
数式の結果 = 7 この関数のヘルブ(H)

⑥ セル[C11]の数式を、オートフィル機能を使用してセル[I11]までコピーします。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J
8		日用品	243	254	358	238	240	459	496	
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66	
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685	
11		順位	7	4	3	6	5	2	1	
12										
13										

ドラッグします	

5. 合計(個)の評価

◇ここでは[B12]~[I12]に「評価」の行を追加し、IF 関数を使用して評価を表示します。 ※評価の条件は、「合計」が 1200 以上を満たす場合は◎、満たさない場合には×を表示するように設定します。

① セル[B12]に評価と入力します。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685	
11		順位.	7	4	3	6	5	2	1	
12		評価:	Į							
13	••									

② セル[C12]に「数式」タブ→「関数ライブラリ」グループ→「関数の挿入」から IF 関数 を選択します。

	セル[C10]をクリックし、 「=>1200」と入力	関数の引数
IF	論理式 C10>=1200 真の場合 偽の場合	

 ③ 「論理式」のボックスに、月曜日の合計 のセル[C10]が1200以上である条件を 入力します。

		Ē	関数の引数	
IF				
	論理式	C10>=1200	263	= FALSE
	真の場合	″@″	55	= ″⊚″
	偽の場合	"ד	<b>1</b>	= "×"

 ④ 「真の場合」のボックスに、<u>条件を満た</u> <u>す</u>場合に表示する「◎」を入力し、「偽 の場合」のボックスには条件を満たさな い場合に表示する「×」を入力します。



⑤ ボックスの内容に間違いがないかを確認し、「OK」ボタンをクリックします。

関数の引数 ? ×
IF 論理式 C10>=1200 () () () () () () () () () () () () ()
数式の結果 = × この関数のヘルプ(H) OK キャンセル

⑥ セル[C12]の数式を、オートフィル機能を使用してセル[I12]までコピーします。

	A	В	С	D	Е	F	G	Н	Ι	J	
3		公米面				売上数(個)					
4		カ 米県	月	火	水	¥	金	±	Β		
5		食料品	578	677	780	674	663	896	989		
6		書籍	38	41	42	38	34	52	56		
- 7		衣料品	53	52	59	58	65	69	78		
8		日用品	243	254	358	238	240	459	496		
9		家電用品	20	23	19	15	26	51	66		
10		合計(個)	932	1047	1258	1023	1028	1527	1685		
11		順位		4		6.			1		
12		評価	×	×	0	×	×	0	0,		
13			•••••				•••••	•••••		•	
14					記 思い	□中揃⊋					
15											



#### 6. 分類別(個)の合計

セル[J3]に「分類別合計(個)」と入力し、SUM 関数を使用して個数の合計を 計算します。

	A	В	С			J		К	L	M	N
1	JAPLANオ	ンラインスト	ア・曜日	L)				+711 [12	1~[1/124	節囲避坦	
2								01/13	].~[]4]&ī	即四进1八	
3		分類			個)	分類別今計(個)・	•**	「セルを	結合して中	央揃え」	
4		<u></u>	月				ļ				
5		食料品		5	89	5257.					•
6		書籍			56	301	•	セル[]5	](टГ=SUM	I(C5:15)J	
7		衣料品			78	434		その数寸	たたわし[]1(	า]≢⊽าピ_	
8		日用品		Ŀ	496	2288		CONSAL			
9		家電用品		L	66	220					
10		合計(個)			<u> 385</u>	8500	ļ_				
11		順位			1			+			
12		評価	×					_			
4.0											

#### 7. 分類別(個)の平均

セル[K3]に「分類別平均(個)」を入力し、AVERAGE 関数を使用して個数の平均値を

計算します。

	A	В				K		L	M	N	0
1	JAPLAN7:	ンラインスト	<i>7</i> •					Leal Free	D1 [1/4]		1
2								UNIK	.З]~[К4]⁄	を配囲選択	
3		公和		]				「セルを	結合して中	•央揃え」	
4				]		//★東方小〒→沙く1回/	ļ				-
5		食料品			5257	751.0			-7. 5		> -
6		書籍			301	43.0	•••	EN[K	.5](2I =AV	ERAGE(C	:5:15)]
- 7		衣料品		[	434	62.0		その数	式をセル[K	91までコピー	
8		日用品			2288	326.9		Coran		-]0.022	
9		家電用品			220	31.4		- and a			
10		合計(個)			8500		₽	小数	点を第1位ま	で表示	
11		順位	$\Box$								



# チャレンジ問題2

以下の手順に沿って、注文請書を作成してみましょう。

<完成例>

	A	В	С	D	E	F
1				No.	0401-0207	
2				受付日	0000年2月7日	
3		注	文請書			
4						
5	株式会社	MISAKI-OHZORA 🏾	卸中			
6	下記の通り、	ご注文を承りました。			HYUGA株式会社	
7					〒560-0023	
8				大阪府	豊中市岡上の町X-X-X	
9					TEL:06-6###-****	
10					FAX:06-6###-****	
11					担当者:日向学	
12						
13	合計金額	¥ 79,710				
14						
15						
16	納品日:	○○○○年2月14日(金)				
17						
18						
19	明細No.	商品名	単価	数量	金額	
20	CL-001	ウエットタオル	268	1	268	
21	CL-011	おそうじシート	128	1	128	
22	TL-002	電波クロック	6,900	1	6,900	
23	OB-045	修正テーブ	169	3	507	
24	OB-051	テーブのり	88	3	264	
25	OB-072	ホッチキス針(1箱)	64	10	640	
26	BF-025	ブース型デスク	12,900	3	38,700	
27	BF-026	メッシュチェア	7,990	3	23,970	
28	TR-001	ホワイトボード	9,990	1	9,990	
29	TR-017	ボードマーカー(黒)	128	5	640	
30				小計	82,007	
31				割引額	8,201	
32				消費税	5904	
33				税込金額	79,710	
34						
35						
36	<b>備考欄</b>					
37	お知らせ:		<b></b>			
38	50,000円以」	Eお 頁い 上げの 場合、10%	割りさせてい	いただいてま	らります。	
39						
40						
41						
42						

1. ブック「Excel チャレンジ問題」を開き、新しいシート「注文請書」を作成します。

### 2. データ入力

① セル[D1]~[E2]を以下のように入力し、日付は TODAY 関数を使用します。

貼り付	ili 🥑 🚺	B <i>I</i> <u>U</u> -	- 🗠	• <u>A</u> • <u>7</u>	右揃え 🚍	) 🔃 🛊	•a• t
クリッブ	がポード 回		フォント		Gi i		配置
	E2	- (	$f_x$	00003	₩2月7日		
	A	В	С	D	E.		F
1				No.	.040	1-0207	
2				受付日	0000年	2月7日	
3							
4					TODAY関数	7	
5					TODATIAS		
6							

※テキストでは「〇〇〇〇年2月7日」と表記しています。

② セル[A3]を「注文請書」と入力し、以下のようにします。

	A	В	С	D	Е	
1				No.	0401-0207	
2				受付日	0000年2月7日	
3			注文	請書		
4			11 - C			
5		14nt +	÷	TTIL [ A 3	1~[E3]を範囲選択	
6		14pt、 (A)	Ŧ	CNLAS	」。「「「」で東RFFT研究」)(	
7				セルを結	合して中央揃え	
· · · ·						

① 結合したセルには「罫線」→「上罫線+下罫線」をクリックします。

	<u>→</u> → <u>→</u> · <u>→</u> =	<b>e</b> z z z z z z z z z z z z z z z z z z z
クリップボード 喧	罫線	配置
A3 🗸 🤆	下罫線( <u>O</u> )	
A B	上野線( <u>P</u> )	E F
1	左罫線(L)	0401-0207
2	右罫線( <u>R</u> )	<u>DO年2月7日</u>
2		
7 👾 🖨		
8 卦脉		
9 「上罫線+下罫線」	<u></u>   下二重罫線( <u>B</u> )	
10	│ <u>──</u> │ 下太罫線( <u>H</u> )	
11	🔣 上罫線 +下罫線( <u>D</u> )	
12		

④ セル[A5]~[A6]を下図のように、入力します。

	A	В	С	D	Е	F
1				No.	0401-0207	
2	14nt -	大字		受付日	0000年2月7日	
3			注文	請書		
4						
5	株式会社	<u>+</u> MISAK	I–OHZOI	RA 御中	1	
6	下記の通り	、ご注文をネ	剢ました。			
- 7				1711[45]	~[05]を範囲選択	
8				CIV[AJ]		
9				罫線「下二		
10						

⑤ セル[E6]~[E11]を下図のように、入力します。

	A	В	С	D	E	F
1				No.	0401-0207	
2				受付日	0000年2月7日	
3			注文	請書		
4						
5	株式会社	<u>+</u> MISAK	I-OHZO	RA 御中	]	
6	下記の通り	「、ご注文を対	承りました。		HYUGA株式会社	
7					〒560-0023	
8				大阪府豊	┣中市岡上の町X-X-X	
9	セル[D8]	]~[F8]を筆	節囲選択	1	TEL:06-6###-****	
10		] [20]8≢		ſ	FAX:06-6###-\$\$\$\$	
11	セルを結合	合して甲央	削え		担当者:日向学	
12	配置:右	「揃え	-			
10						

⑥ セル[A13]、セル[A16]~[B16]を下図のように、に入力します。

クリップ	A列の幅・10		5山本市画 ・ つの			配置	G
	101001	」 ₊⊚ ⊡	外リの沖囲:20				
	A	В	÷	С	D	E	F
10						FAX:06-	6###-\$\$\$\$
11						担当	者:日向学
12							
13	合計金額				14pt、太 <sup>5</sup>		]
14	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	•••••		TILLA13	]~[₽13]を新囲選択	
15							
16	納品日:	0000年2.	月14日(金)	1	罫線 下太	「罫線」	
17	·			•			-
18	•	太字					
19		野炉「セフ」					
20		重加水 恰丁」					
21							

 ⑦ セル[A19]~[E29]を下図のように、入力します。E 列の金額は「=単価\*数量」で 計算します。

※「単価」と「金額」の数値には「桁区切りスタイル」を使用します。

貼り作	tt 🥑 🖪	I <u>U</u> - <u>A</u>	×	つぶし「濃い	青 テキスト2」 <sup>(て中央)</sup>						
クリッフ	がボード 🖙	フォント	フォン	小の色「白」	」、太字、中央揃え						
$-\int_{\mathbf{x}}$											
	Α	B	C C	D	E						
19	明細No.	商品名	単価	数量	金額						
20	CL-001	ウェットダオル	268	1	268						
21	CL-011	おそうじシート	128	1	128						
22	TL-002	電波クロック	6,900	1	6,900						
23	OB-045	修正テープ	169	3	507						
24	OB-051	テープのり	88	3	264						
25	OB-072	ホッチキス針(1箱)	64	10	640						
26	BF-025	ブース型デスク	12,900	3	38,700						
27	BF-026	メッシュチェア	7,990	3	23,970						
28	TR-001	ホワイトボード	9,990	1	9,990						
29	TR-017	ボードマーカー(黒)	128	5	640						
30											

#### 3. SUM 関数

① セル[D30]に「小計」と入力し、セル[E30]に SUM 関数を使用します。

	A	В	С	D		E	
19	明細No.	商品名	単価	数量		金額	
20	CL-001	ウェットタオル	268	1		268	
21	CL-011	おそうじシート	128	1		128	
22	TL-002	電波クロック	6,900	1		6,900	
23	OB-045	修正テーブ	169	3		507	
24	OB-051	テープのり	88	3		264	
25	OB-072	ホッチキス針(1箱)	64	10		640	
26	BF-025	ブース型デスク	12,900	3		38,700	
27	BF-026	メッシュチェア	7,99	И-Б <u>Т</u> ЦПМ-Т	5 7 11 1	23,970	
28	TR-001	ホワイトボード	9,990	耐区切り入	91763	9,990	
29	TR-017	ボードマーカー(黒)	128		. h	640	
30				小計		82,007	1
31	塗	りつぶし「濃い青 テキスト2			1. N.	•••••	·
32			171	[E30](-[	=SUM	(F20·F29)1	
33	<u></u>			elego lier	-0014	(220.227)]	
34							

#### 4. IF 関数

セル[D31]~[E33]に「割引額」「消費税」「税込金額」の表を追加します。
 ※セル[E31]~[E33]には「桁区切りスタイル」を使用します。

		A	В	С	D	E	F
27	BF	-026	メッシュチェア	7,990	3	23,970	
28	TR	-001	ホワイトボード	9,990	1	9,990	
29	TR	-017	ボードマーカー(黒)	128		640	
30				_ í	小計	82,007	
31		涂りつ	ぶし「濃い青 テキストク」		割引額		
32		空りつかい 振い月 リイスト2」			消費税	•	
33					税込金額		
34				- ·	••••••		

◇ここでは割引額のセル[E31]に IF 関数を使用して、割引額を求めます。 なお、割引額の条件は、50,000 円以上の購入で、10%割引に設定します。

② 「論理式」のボックスに、小計のセル[E30]が 50,000 円以上である条件を入力しま す。

関数の引数
>=50000 📧 =
=

③ 「真の場合」のボックスに、<u>条件を満たす</u>場合に表示する、小計[E30]に 10%を掛ける数式を入力します。

セル[E30]をクリックし、	関数の引数
「*10%」と入力	
論理式	E30>=50000 🎫
真の場合	E30*10%
偽の場合	55

 ④「偽の場合」のボックスに、<u>条件を満たさない</u>場合に表示する、空白のセルを表す「""」 (ダブルコーテーション)を入力します。

空白のセルを表す[""	レタンカ	関数の引	数
110/0/21291	1.5///1		
論理式	E30>=5000	10	<b>16</b>
真の場合	E30*10%		
偽の場合	""		5

⑤ ボックス内の数式や文字を確認し、「OK」ボタンをクリックします。

	関語	数の引数			?	×
-IF						
論理式	E30>=50000	56	=	TRUE		
真の場合	E30*10%		=	8200.7		
偽の場合	""	56	=	""		
		•••••	=	8200.7		
論理式の結果(TRUE か F	FALSE) (こ応じて、指	定された値を认	反し	ます。		
(ž	めの場合 には論理式 ます。省略	くの結果が FA された場合、F	LSE ALS	E であった場合に返 SE が返されます。	这れる値を:	指定し
数式の結果 = 8,201						
<u>この関数のヘルプ(H)</u>				ОК	++	ven
			0	D		F

			С	D	E	F
		28	9,990	1	9,990	
		29	128	5	640	
-	<b>_</b>	30		小計	82,007	
		31		割引額	8,201	
		32		消費税		
		33		税込金額		
		34				

#### 5. ROUNDDOWN 関数

① 消費税のセル[E32]に ROUNDDOWN 関数を使用して、消費税の小数点以下を切り 捨てる値を求めます。

		関数の弓	し数		? ×		
ROUNDDOWN 数f 桁弱	直 (E30-E31)*8% 数 0		<b>5904</b>	.504			
数値を切り捨てます。	桁数 (ごは) 指定 位を	数値を切り揺 ミすると、数値 : 0 とする) (ご	= 5904 まてた結果の桁数 証は小数点の左( 切り捨てられ、0	を指定します。れ 整数部分)の指 を指定するかまり	行数に負の数を 定した桁(1の	5	
				C10/C ) 0// 0/	00-8-00-00		
数式の結果 = 5904 この関数のヘルプ(H)				ок 🍃	キャンセル		
数式の結果 = 5904 <u>この関数のヘルプ(H)</u>			0		**>\tr	F	
数式の結果 = 5904 <u>この関数のヘルプ(H)</u>	Π	28	C 9,990	ОК Д	**>セル	E	9,99
数式の結果 = 5904 この関数のヘルプ(H)		<b>2</b> 8 29	C 9,990 128	ок <sub>С</sub> О П	(キャンセル)	E	<u> </u>
数式の結果 = 5904 <u>この関数のヘルプ(H)</u>		28 29 30	C 9,990 128	OK 入 D 1 5 小計	(キャンセル	E	9,99 64 82,00
数式の結果 = 5904 <u>この関数のヘルプ(H)</u>		28 29 30 31	C 9,990 128	D D 1 5 小計 割引額	**>	E	9,99 64 82,00
数式の結果 = 5904 この関数のヘルプ(H)		28 29 30 31 32	C 9,990 128	D D 1 5 小計 割引額 消費税	(キャンセル) (キャンセル)	E	9,99 64 82,00 8,20 590

- 6. 注文請書の完成
  - ① 税込金額のセル[E33]に数式「=小計-割引額+消費税」を入力します。

	С	D	E	F
29	128	5	640	
30		小計	82,007	
31		割引額	8,201	
32		消費税	59.04	
33		税込金額	=E30-E31+E32	
34			••••••	

		С	D	Е	F
	29	128	5	640	
$ \longrightarrow $	30		小計	82,007	
	31		割引額	8,201	
	32		消費税	5804	
	33		税込金額	79,710	
	34			••••••	•

② 合計金額のセル[B13]に「=」と入力し、セル[E33]をクリックします。

	A	В	
12			
13	合計金額	=E33	
14			



③ 下図のように、セル[A36]~[E40]に備考欄を挿入します。

	A	В	С		D	E	
28	TR-001	ホワイトボード	9	,990	1	9,990	
29			+0	128	5	640	
30	ー セル [A36] ~ [E36] ま (範囲選択				小計	82,007	
31	塗りつぶし	」濃い青 テキスト2」			割引額	8,201	
32	→「白+	基本色 80%」			消費税	5904	
33	<b>罫線「外</b>	た」			税込金額	79,710	
34	王向凤门	•					
35							
36	備考欄						
37	お知らせ:	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	•••••	•••••		
38	50,000円以」	_お買い上げの場合、10%	割引さ	せてい	いただいてお	らります。	
39							
40	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••				•••••	······	
41							
42	+711	「A27」。、「E40] 士云筠田	125210				
43		[A37] ~ [E40] まで軋団	迅步仍				
44	野線	外枠」					
45							